小学生を対象とした「旭川荘福祉体験バス」を開催。岡山県内の小学生と保護者計22名が参加しました

この企画は、障害者や高齢者、福祉の仕事への理解を深めてもらうことを目的とした親子で参加できる体験型プログラムで、昨年に続き2回目

←共催の下電観光バスが提供する観光バスに乗って旭川荘へ到着する参加者たち

←「アトリエ夢工房」からスタート
“結び織り”の説明を熱心に聞く親子

↑ “結び織り”初体験
上手にできるかな？！

←機織りも体験。
「昔ばなしみたい！」

← 糸巻き機を使って、くるくる糸を巻きます

←利用者さんと一緒に糸巻きに挑戦

続いて身体の不自由な人たちが入所している
「竜ノ口寮」で障害者スポーツに参加

←“ボッチャ”の説明を聞く子どもたち

↑　初めての“ボッチャ”に挑戦！

↑　利用者さんの巧みなコントロールにビックリ！

卓球バレーも体験しました　→
得点が入ると歓声があがります

↑　スポーツの後は感謝の気持ちを込めて、利用者さんの車いすを磨きました

午後からは旭川荘厚生専門学院で障害者介助の
「ミニ講義」を受講

　介護福祉士から車いすの操作や目の不自由な人の誘導について説明を受けた後、車いすに乗ってスロープを移動する、目隠しをして歩く・食べるなど障害を抱えた人の大変さを体感。合わせて介助者が声をかけて誘導することの大切さを学びました

真剣な表情で、講義を聞く子どもたち　→

↑　介護福祉士と一緒に
車いすを傾けて段差を乗り越えます

目隠しをしたお母さんに手を添えて誘導　→

旭川敬老園では、お年寄りたちが暮らすユニットケアの居室やリフト付きの浴室などを見学

←初めて見る福祉機器に「便利！」という声も

最後は皆で記念撮影　→
夏の楽しい思い出ができました